

Glacier Bay National Park & Preserve Park Brochure Text Japanese (side 1)

遥か遠い、力強い、ありのままの大自然

お越し頂いたのは Glacier Bay (グレイシャー・ベイ) 国立公園、大地が生まれ変わり、世界に命が蘇り、そして自然の回復力を目にする事ができる場所です。ここは正に、私達が自然界や自分自身の中に全可能性を見出す興味や勇気を与えてくれる場所です。若い陸地と新しく形成された海にもかかわらず、Glacier Bay は民族郷土であり、天然の研究所、原生の自然地域、国立公園、国連の生物圏保存地域、また世界遺産の地でもあります。わずか 250 年前まで、Glacier Bay は全て氷河に覆われ湾はありませんでした。巨大な氷の川が、およそ 100 マイル (160km)、数千フィート (千フィートは約 300m) もの深さで湾全体を覆っていました。今日、その巨大な氷河は北へ後退し湾にはありません。小規模の氷河海岸が 10 箇所ほど残るのみです。これらの氷河海岸の景観も素晴らしく、湾奥の入り江でそれぞれが、海岸沿いの高い山々から海へと流れ込み、そこで大きな氷塊を分離し、冷たい海の中で氷山がダイヤモンドのように輝いているのです。氷の川は変化を見てきています。この地で、少し立ち止まって氷河時代の冷たい空気を深く吸い込み、たった一日だけでも、遠い昔の様子を思い浮かべてみてはいかがでしょうか。



Image captions:

氷河が後退した湾の一部は現在新しい森に覆われています (左端)。氷河がまだ湾へ流れ込んでいる所もあります。氷河が後退すると裸地を跡に残してゆきます。来園者に人気のみどころに Humpback whale (ハンプバック・ホエール、和名：ザトウクジラ) (上) の見学があります。

大量の雪で成長し、海まで伸びる氷河 (氷河海岸) は、海岸で分離して氷山をつくります。氷河海岸の先端に堆積物が積もると (右)、海水から氷河を保護する砂州となり、氷がより深く海面下へ進出できるようになります。砂州が失われると氷河は後退を始めます。状況によっては、これが繰り返され、再び氷河の進出が始まります。

土地とのつながり

Glacier Bay の旅は、単なる場所を巡る旅ではなく、時間の旅でもあります。現代から始まり、氷河期に終わるこの旅は、樹木が茂る湾口から岩や氷に覆われた湾奥へ北に向かいます (およそ 105km)。動植物が新たな土地を切り開き、熟練した自然観察者も驚くほどの突然の風景の変化や微妙な移り変わりを、とてもたくさん目にする事ができます。熊が氷河を渡る姿や、ヘラジカが入り江を泳ぐ姿、トウヒが花崗岩の割れ目から芽を出し、空へ伸びている様子も見られるかもしれません。ここでの生活環境は大変厳しいものです。Glacier Bay には感動のストーリーがあり、世界中から科学者や自然保護論者、旅行者を惹きつけるのです。

ここを訪れた科学者の一人に、ミネソタ州出身の植物生態学者がいました。物静かで気さくな笑顔で、植物の相互関係を研究していました。彼は 1916 年に Glacier Bay を訪れ、その後数十年に渡り度々この地に戻って来ては注意深く観察を行いました。彼の名前は William S. Cooper (ウィリアム S. クーパー) です。汚れないありのままの自然が、氷河の後退により生命を吹き返す——ここでの調査にあまりに感動した氏は、Ecological Society of

America（エコロジカル・ソサエティ・オブ・アメリカ、米国生態学会）の同僚にその調査結果を話しました。氏と同僚たちは自らに問いました。Glacier Bay を保護することは可能か？変わり行く自然によって永遠に教えられ啓発される場所としてここを残すことは可能か？Cooper 氏は Glacier Bay の歴史を熟知していました。Tlingit（トリングिट）族が幾世代もこの土地に住み、氷河のふもとで海と陸の恩恵を受けながら繁栄してきたのです。1794 年、George Vancouver（ジョージ・バンクーバー）艦長がこの地域を航海し、湾がただ一つの巨大な氷河に覆われている様子を略図に残しました。その 85 年後、ナチュラリストであり自然保護論者である John Muir（ジョン・ミューア）氏が湾をカヌーで訪れると、氷河が年間最高 1 マイル（1.6km）の速さで後退している事がわかりました。Muir 氏は Glacier Bay について、歌うような言葉でとても感情豊かに書き綴り、アメリカ人のイメージしたアラスカを、気が滅入る様な極寒地からうっとりするほど美しい場所へと一変させたのです。

William Cooper 氏は、自身が研究していた小さな植物たちのように不屈で粘り強い人でした。John Muir 氏のように、Cooper 氏も Glacier Bay によって今までの自分を乗り越える精神力を見出したのです。批判を受けながらも、手紙で訴えたり、講演をして呼びかけました。公有地の保全運動は常に争いなしには成し遂げられないのです。1925 年、氏の努力が報われ Glacier Bay はナショナル・モニュメントとして保護されることになりました。そして 55 年後、当時の大統領 Jimmy Carter（ジミー・カーター）氏が Alaska National Interest Lands Conservation Act（アラスカ・ナショナル・インタレスト・ランズ・コンサベーション・アクト）という国有地保全法に署名し、ここは Glacier Bay National Park and Preserve（グレイシャー・ベイ・ナショナル・パーク・アンド・プリザーヴ）として国立公園になりました。このことを知ったら William Cooper 氏は笑顔で喜び、John Muir 氏は歌いだしていた事でしょう。

Image Captions

氷河が後退したあとの荒れた裸地に、回復に向けいち早く進出する植物には、Fireweed（ファイアウィード、和名：ヤナギラン）（前方）などがあります。

John Muir（上）氏と彼の仲間が 1890 年、氷河研究の拠点として Muir Glacier（ミューア・グレイシャー）付近にこの小屋を建てました。氏は、カリフォルニアの Yosemite Valley（ヨセミテ渓谷）が聖書「ノアの箱舟」で書かれている大洪水でなく、氷河により削られて形成されたものであるとして、ヨーロッパから生まれた新しい学説を支持しました。

生態学者 William S. Cooper（右上）氏は 50 年間、この地で氷河期後の植生遷移について研究しました。公園のビジターセンター付近（左上の遊歩道）は、今では植物が回復し、ヘラジカ（真上）も見られるようになりました。巨大な氷河の後退を追うように、湾の奥へ進むほど若い森林が見られます。

当公園の学者や研究員によるフィールド調査は、公園の管理に役立てられています。Tlingit 族の伝統知識は、この陸や海を理解する上で大きく貢献しています。

Caption for illustration of Tlingit native village

現在の Bartlett Cove（バートレット・コーヴ）洞窟付近では、Tlingit 一族が夏場の居住地として 1600 年代後半に鮭漁を行っていました。冬場の住居が遠くに見えるところでした。春から秋にかけて一族は広範囲を移動しながら、長い冬を乗り切るために必要な収穫をしました。当時の風景は現在の湾の風景とは大きく異なるもので、草に覆われた谷には、鮭の豊富な川が流れ、森林が点在していました。遠くにそびえる巨大な氷河は、しばらく動きを見せなかった後、すさまじい進出を始め、1750 年頃一族をその地から追いやってしまいました。しかし Tlingit

族は強い人々でした。氷河が後退すると共にこの地に戻り、現在は Glacier Bay を神聖なる郷土としています。

Glacier Bay National Park and Preserve

Park Brochure Text (side 2-map)

氷河の進出と後退

1680 年まで

大陸規模の氷板が 700 万年もの間行き来をし、およそ一万年前までそれが続いていました。この大氷河期の間、氷板はアメリカ合衆国中西部の北部まで南下していました。現在の Glacier Bay は、北方地域で地学的に最近起きた氷河の進出、Little Ice Age（リトル・アイス・エイジ、小氷期）の産物です。Little Ice Age は 1750 年頃、その進出範囲のピークを迎えました。アラスカやハワイを除くアメリカ合衆国の山々では、じきに過去のものとなってしまう可能性のある氷河がありますが、ここでは後退するものもあれば進出するものもあります。

1750 年

Glacier Bay では、短い人間の一生ではほとんど気づくことが出来ない地学的な過程や変化を目にする事が出来ます。この絵と、裏面にある 1680 年の Huna Tlingit（フナ・トリングット）の光景を見比べて下さい。当時は、広い溪谷を下方に移動する氷河があるだけで、湾は存在しませんでした。

1880 年

Little Ice Age は、地質学的には急速に過去のものになりました。1750 年までに氷河は最大になり、Icy Strait（アイシー海峡）まで張り出していましたが、45 年後 George Vancouver 艦長がこの地を航海した際には、氷河は湾内に 5 マイル（8km）も後退しており、削り出された Glacier Bay がありました。

1879 年

自然保護論者である John Muir 氏が 1879 年にこの地を訪れた際には、Vancouver 艦長が訪れた時よりも氷河はさらに 40 マイル（64km）も湾奥へ後退していました。著名な作家である Muir 氏の著書により、人々はアラスカに強く興味を持ち、観光旅行者が Glacier Bay に訪れました。現在と同様、人々は船で訪れました。

現在

現在、氷河海岸を見学するには、65 マイル（105km）も湾内へ行かなければならず、1750 年時の氷河の図と比較してみると大きく後退した様子が分かります。北部の地域は南部より気候の変化により早く反応します。私たちが生きている間に Glacier Bay はどのように変化していくのでしょうか。

Glacier Bay National Park and Preserve は、330 万エーカー（13,355 km²）の山々・氷河・森林・水路から成っており、Inside Passage（インサイド・パッセージ）と呼ばれる内海航路の一番の見所です。また、世界最大の自然保護地域の一つ、2500 万エーカー（101,171 km²）の World Heritage Site（世界遺産）地の一部でもあります。

公園を訪れる方へ

アラスカ南東部の Juneau（ジュノー）の西部から公園を訪れる際は、ボートおよび飛行機のみの入園となります。

公園の本部は Juneau から 65 マイル（105km）離れた Bartlett Cove にあり、さらにそこから 55 マイル（88.5km）離れた所に氷河海岸があります。安全関連、アクセス、旅行計画、宿泊、バックカントリー、各種サービス、アクティビティー、川の許可証、園内のお店や企業など、園内の情報については直接公園にお問い合わせ下さい。公園のフリーペーパー「The Fairweather」（ザ・フェアウェザー）でも上記の情報が掲載されています。

6 月 1 日から 8 月 31 日までの間、個人の船舶が Glacier Bay に入る際には許可証が必要です。当公園へ電話（907-697-2627）又は VHF 無線機（KWM 20 BARTLETT COVE）でお問い合わせ下さい。事前のご予約をお勧めいたします。熊、繁殖中の鳥、ザトウクジラ、その他の野生生物の活動のために閉鎖または立ち入り制限がなされてる区域があります。夏期であっても低体温症対策は忘れずに、雨具・帽子・手袋や防水靴を必ず持参して下さい。グリズリーやブラックベア、ヘラジカなどが園内に生息しています。旅行やキャンプの安全対策については、パークレンジャーにお問い合わせ下さい。

お問い合わせ

Glacier Bay National Park and Preserve

P.O.Box 140

Gustavus AK 99826-0140

電話：907-697-2230

ホームページ：www.nps.gov/glba

電子メール：glba_administration@nps.gov

Alaska Geographic（アラスカ・ジオグラフィック）では、書籍・地図・図表・ビデオの通信販売を承っております。商品のリストについては公園にお問い合わせ下さい。販売の収益金は公園のプログラム支援に充てられています。Glacier Bay Lodge（グレイシャー・ベイ・ロッジ）に関する詳細は www.visitglacierbay.com まで。

当公園は、390 以上の公園を統括する National Park System（国立公園システム）により管轄されています。国立公園についての詳細は、www.nps.gov をご覧下さい。